

神奈川県保健医療計画 進捗状況評価調書

<項目>

第3章 医療従事者の確保対策の推進

第2節 看護職員

とりまとめ担当課：保健福祉局保健医療部保健人材課

1 課題に対するこれまでの取組実績

<p>(1) 看護職員の養成確保</p> <ul style="list-style-type: none"> → 看護師等養成施設の運営費や施設整備費等に対して補助 (H28:24 施設、H25 からの累計：86 施設) → 看護職員等の確保、県内定着を図るため修学資金を貸付け (H28：新規貸付 232 人、H25 からの累計：964 人) → 実践教育センターにおける看護専任教員の養成 (H28：33 人、H25 からの累計 155 人) → 実習受入体制の充実、新たに実習生を受け入れる施設の拡充に向けて支援 (看護実践教育アドバイザーの派遣 H28：17 施設、H25 からの累計：46 施設。実習施設への補助 H28：35 施設、H25 からの累計 161 施設) → 准看護師養成課程から看護師養成課程への移行 (県立衛生看護専門学校 H27.3 准看護課程廃止△40 人、H26.4～看護師課程定員増+40 人)
<p>(2) 定着対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> → 実習・演習などを充実させた修業年限4年の教育課程の導入に向けて、県立平塚看護専門学校の改修工事を実施 → 新人看護職員職場内研修を実施する病院に補助 (H28：129 施設、H25 からの累計：496 施設) → 看護職員が子育てをしながら働き続けることができるよう院内保育施設の運営費に対して補助 (H28：126 施設、H25 からの累計：475 施設) → 相談窓口を設置し、個々の事例に対応した勤務環境改善に取り組む医療機関を支援
<p>(3) 再就業の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> → 看護職員に離職時のナースセンターへの登録を促進 (H28：新規登録者数 1,019 名、H25 からの累計：1,754 名) → ナースセンターにおいて就労相談、無料職業紹介等を実施 (実績 H28:就職者 539 人、H25 からの累計：2,471 人) → 再就職促進に向け看護の職場見学会 (H28:随時開催、H25 からの累計：30 回) や就業相談会 (H28:4 回開催、H25 からの累計：13 回) を実施

2 参考指標の推移

取組 区分	指標 区分	指標名	単位	神奈川県				出典等
				H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	

3 課題ごとの進捗状況の評価

(1) 看護職員の養成確保

評価	① ・ B ・ C ・ D
評価分析	<p>看護師等養成所や学生・実習受け入れ施設等への支援を実施し、県内の養成施設数及び看護師等養成数が増加した。</p> <p>・養成施設 H25 以降+7 校、入学定員 H25 以降+630 人</p>
評価理由	<p>養成施設や入学定員が増加するなど、課題解決に向けて着実に進捗している。</p>
今後の取組みの方向性(29 年度に向けた取組の方向性)	<p>医療や社会の変化に対応し、自律的に実践能力を開発させていける人材の養成・確保について、引き続き推進していく。</p>
次期計画に向けた取組の方向性	<p>養成数は一定程度増加したことから、今後は、質の高い看護人材の養成に向けた取組みを強化していく。</p>

(2) 定着対策の充実

評価	A ・ ② ・ C ・ D
評価分析	<p>新人看護職員職場内研修や院内保育等の職場定着対策が、多くの病院で実施されるようになった。</p>
評価理由	<p>離職防止研修や、定着促進に向けた院内保育補助を実施するなど、課題解決に向けて比較的順調に進んでいる。</p>
今後の取組みの方向性(29 年度に向けた取組の方向性)	<p>中小規模の病院の離職率が他と比べて高いので、中小規模の事情を踏まえた効果的な支援策を推進していく。</p>
次期計画に向けた取組の方向性	<p>中小規模の病院の離職率が他と比べて高いので、中小規模の事情を踏まえた効果的な支援策を推進していく。</p>

(3) 再就業の促進

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	未就業看護師等の復職支援に取り組んでいるが、ナースセンターを活用した就職者数はほぼ横這いで推移している。
評価理由	再就業の促進に向けた様々な取組みを進めているものの、就職者数は横這いである。
今後の取組みの方向性(29年度に向けた取組の方向性)	ナースセンターの認知度や利便性の向上により、求職登録者数と就職者数の増加を図っていく。
次期計画に向けた取組の方向性	ナースセンターの認知度や利便性の向上により、求職登録者数と就職者数の増加を図っていく。

4 総合評価

評価	評価理由
B	再就業の促進についてはやや進捗が遅れているものの、看護職員の確保については県内養成数が増加するなど、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。

5 特記事項

--